

1. 件名：「泊発電所原子炉施設保安規定変更認可申請（2号炉の高経年化技術評価等）に関する事業者ヒアリング（3）」

2. 日時：令和2年6月9日（火） 13時30分～15時20分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（※一部TV会議システムによる出席）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ 実用炉審査部門

塚部管理官補佐、櫻井安全審査官、宮本安全審査専門職

長官官房技術基盤グループ

システム安全部門

池田上席技術研究調査官、河野主任技術研究調査官、

小嶋主任技術研究調査官、橋倉技術研究調査官※、北條技術研究調査官、

渡辺技術研究調査官、徳田技術研究調査官

地震・津波研究部門

鈴木技術参与

北海道電力株式会社

原子力事業統括本部 原子力設備グループリーダー 他12名※

5. 要旨

(1) 北海道電力株式会社（以下「北海道電力」という。）から、泊発電所原子炉施設保安規定変更認可申請書（2号炉の長期保守管理方針の追加）に関して、資料に基づき、前回のヒアリングからの変更点等について説明があった。

(2) これに対し、原子力規制庁は、本日説明があった事項を含め高経年化技術評価を引き続き確認していく旨を伝えた上で、以下の事項などについて説明するよう求めた。

<中性子照射脆下>

➤ 参照温度 $T_0$ を用いた原子炉容器の加圧熱衝撃（PTS）評価の実施の有無について

<コンクリート>

➤ 中性子照射量の評価に用いている中性子スペクトルの範囲の差による影響について

➤ 中性子及びガンマ線の照射量解析に用いている解析コードについて

➤ 拡散方程式の回帰分析結果（干満帯及び海中帯）のグラフにおける実測値について

<耐震安全性>

➤ 1号炉では耐震補強工事対象外であった「1次冷却系統配管」及び「安全注入系統配管」が、2号炉では補強対象となる理由について

➤ 母管の腐食（流れ加速型腐食）のうち、「主蒸気系統配管」及び「主給水系統配

管」の評価に関して、スペクトルモーダル解析で用いているFRS（床応答スペクトル）の内容について

- RV管台とSG管台の応力腐食割れに対する耐震安全性評価の扱いについて

（3）北海道電力から、今後の審査において説明していく旨、回答があった。

## 6. その他

提出資料：

- ・泊発電所2号炉 高経年化技術評価（30年目）の概要
- ・泊2号炉高経年化技術評価書 修正箇所比較表
- ・泊2号炉 原子炉容器PTS評価における JEAC4206「原子炉圧力容器に対する供用期間中の破壊靱性の確認方法」2016年版の評価結果 について
- ・泊発電所2号炉 高経年化技術評価（コンクリート構造物及び鉄骨構造物） 補足説明資料
- ・泊発電所2号炉 高経年化技術評価（耐震安全性評価） 補足説明資料

以上